

# 活用事例



キツツキが教えてくれます

## 騒音環境下作業者の緊急伝達装置 製品名：キツツキハンマー

### 事例の概要

- 平成24年から林野庁「緑の雇用」の助成事業で研究を開始。
- 東京都檜原村や兵庫県神河町の林業会社など多くの林業関係者と山林内で実証実験を行う。  
\* キツツキハンマーを装着した状態で間伐の作業を実施し下記の実証を行った。
- 林作業時にLPWA 920MHzでの通信距離を計測、未間伐の杉山で約800メートルの通信が可能なことを確認。
- 間伐作業時のチェーンソーの爆音発生環境下においても、作業者がキツツキハンマーの鳴動を認識できたことを確認。
- 携帯電話が通じにくい山林(特に谷間)で、本装置(キツツキハンマー)のLPWA 920MHz通信は有効であることを実証。
- 5年間の実証試験の結果、実際の作業で十分使えるシステムになったのでスタンドアロンタイプとして2019年12月から販売。
- 更に、2018年から大手林業会社や大手通信会社と林業ICTの共同実験を実施中。  
麓に置いた親機にスマートフォンを接続することでWebメールでの緊急伝達ができるシステムを(下記の図)現在開発中。  
(2020年春 販売予定)

